あさひむら としょかん新聞

村立朝日村図書館発行
2022年3月2日
（第12号）
3月

「目指すところは同じ」

卒業を迎えるみなさんおめでとうございます。日本では今月卒業式、来月入学式を行う学校がほとんどですが、世界では3月卒業、4月入学はめずらしいそうですよ。

日本では、明治33(1900)年に出された小学校の制度に関する法律で新学期は4月と定められました。これは、政府の「会計年度」※に合わせたことによると考えられています。他の国ではどうでしょう。アメリカやヨーロッパの新学期は9月です。主食の小麦を植える時期に合わせたという説や、あたたかい時期なので、体調をくずさず入学試験を受けられるから、という説などがあるようです。

他にも日本の学校と世界の学校には様々な違いがあります。日本とイギリスの通学方法を比べてみると、日本の子どもは一人か、友人と一緒に登校しますが、イギリスでは主に治安や交通安全上の理由から12歳までの子どもが1人で外を歩いたり、留守番したりすることは禁止されているため、登下校は必ず保護者と一緒にします。学校への登下校は保護者の責任で行われます。

アメリカと日本の中学校にも違いがあります。日本では音楽や美術、理科の実験など、特別な道具や場所が必要な授業以外はすべての授業で教室が変わります。なぜなら、先生がそれぞれ自分の教室を持ち、生徒は休み時間に次の授業を担当する先生の教室に移動するからです。生徒一人ひとりの時間割が違うので、隣の席の生徒と、次の時間も同じ授業を受けるとは限りません。

日本と世界の国々の教育の違いを述べてきましたが、「教育」という言葉には様々な意味があり、その具体的な内容も様々です。最も広い意味での教育は、人間が集団で生活を営むようになると同時に始まり、その内容は生きていくうえで必要な生活の知恵を学ぶことでした。文明が発展すると、社会生活で必要な内容、さらには文学や芸術も加わりました。しかし、時代や場所が変わっても共通して教育が目標としていることは心身ともに豊かな人間を育むことといえるのではないでしょうか。

この内容は図書館に所蔵の児童向け図書「それ日本と逆!?文化のちがい 習慣のちがい」という本を参考にしています。全5巻で、日本と世界との違いを知ることができます。興味のある方はぜひ手に取って読んでみてください。

※「会計年度」＝予算を1年ごとに計算するための区切り。

「イベントに関するお知らせ」

今年度の読書推進イベント「読書通帳」と「ごほうびシール」は3月20日で終了します。ごほうびシールが12ヶ月ぶん揃った方は表彰しますので、職員に声をかけてください。本年度も多くの方に参加いただきありがとうございました。

読書通帳は今年度実施し大好評でした。そのため、来年度も読書通帳を続けたいとのご希望があればお渡しいたします。職員に申し出てください。

4月からの読書推進イベントは・・・
「おすすめ本リレー」です。だれかがおすすめする本をかりたり、自分のお気に入りの本を紹介したりして、おすすめの本を次の人にリレーしていきます。4月1日にスタートします。3月23日から参加者の登録受付を開始。みなさまの参加お待ちしております。

卒業・卒園を迎える方に贈る1冊

保育園・幼稚園を卒園するみなさんへ

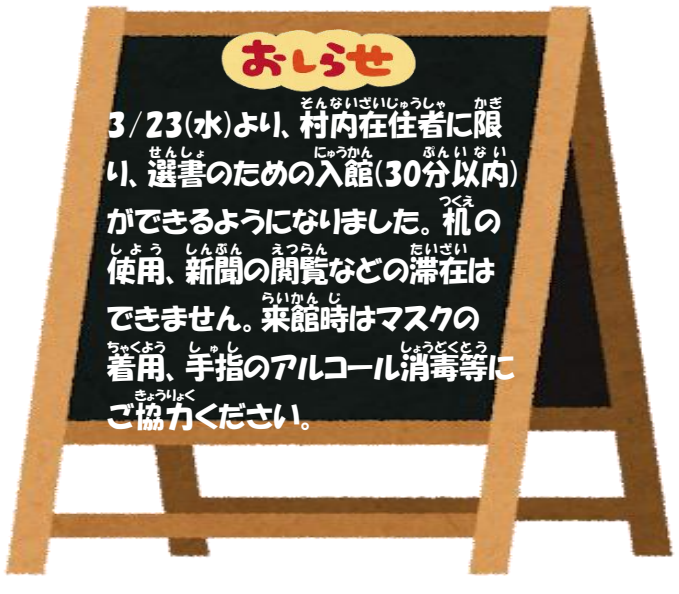
「おおきくなるっていうことは」
中川ひろたか・文
童心社

小学校を卒業するみなさんへ

「たいせつなこと」
マーガレット・W・ブラウン・作
フレーベル館

中学校を卒業するみなさんへ

「最初の質問」
長田弘・詩　講談社



「絵本選びのポイント③」

親子でたくさんの絵本を読み、
広い世界をともに体験しましょう！

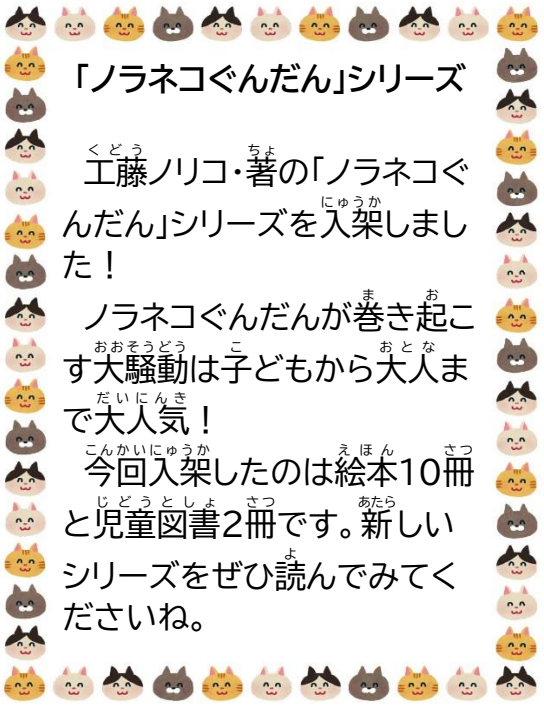
③「豊かな『体験』となる絵本」

絵本の世界で子どもたちは、楽しさや怖さ、知っていること知らないことを体験し味わうことができます。その中で体験したことが子どもの知識となり、豊かな感情を育てる一助となります。子どもにとっての絵本は、大人の読書よりもっと深くて豊かな体験そのものなのです。

☆おすすめの絵本☆

ジェズ・オールバラ	「ぎゅっ」	0歳～
筒井頼子	「はじめてのおつかい」	3歳～
井上荒野	「ひみつのカレーライス」	5歳～

☆次回☆『男性やお父さんの読み聞かせ』です



「ノラネコぐんだん」シリーズ

工藤ノリコ・著の「ノラネコぐんだん」シリーズを入架しました！

ノラネコぐんだんが巻き起こす大騒動は子どもから大人まで大人気！

今回入架したのは絵本10冊と児童図書2冊です。新しいシリーズをぜひ読んでみてくださいね。